「令和8年度心の問題と成長支援ワークショップ」カリキュラム

１日目

時間	プログラム名	講師	目的	内容
9：50～ 10：20	受付（30分）			
10：20～ 10：30	オリエンテーション（10分）			
10：30～ 10：50	①イントロダクション（20分）	古川先生	・現代の学生の心理的特徴、学生相談の目的・役割について基本的な理解を得るとともに、本ワークショップの動機付けを高める。	・現代の大学等をとりまく状況と学生の心理的特徴 ・高等教育における学生相談の目的と役割 ・学生生活を理解する視点 ・本ワークショップの概要と目的
10：50～ 11：20	②メンタルヘルスの基礎知識 （精神障害と発達障害） 補足講義と質疑応答 （30分）	安宅先生	・学生期によく見られる精神障害、発達障害等について、基礎的な知見と対応時の留意点などを理解し、メンタル不調の学生への学内における支援体制、職種間および外部医療機関との連携についても理解する。	・事前学習に対する補足講義
11：20～ 11：40	③アイスブレーク （20分）	古川先生	・各班に分かれ、メンタルヘルスの基礎知識に関する感想や、所属校における学生相談・相談体制における課題を共有する。	・各班のメンバーとの自己紹介・情報共有
11：40～ 12：40	昼食・休憩（60分）			
12：40～ 15：20	④学生の成長を促す 相談の乗り方 （休憩含み160分）	布柴先生	・学生から相談を受ける際の心構えを理解するとともに、カウンセリング・スキルの基礎演習を通して、学生対応の基本スキルを修得する。また発達に偏りのある学生の相談に乗るときの留意点について理解する。	・自己決定を促すカウンセリング ・支援のための方法論（理論編+実習編） ・発達に偏りのある学生への支援の留意点
15：20～ 15：30	休憩（10分）			
15：30～ 17：00	⑤学生相談体制の理解と関係者との連携 （90分）	高野先生	・支援のための様々な資源について理解する。また、関係者との連携の重要性・必要性を理解する。 ・保護者を含むすべての関係者と連携・協力しながら支援を実施する方法・ポイントを理解する。	・学生相談の3階層モデル ・各階層における支援のあり方 ・自校の学生相談体制の理解 ・学外資源についての理解 ・連携の重要性・必要性
17：00	事務連絡			

「令和8年度心の問題と成長支援ワークショップ」カリキュラム

２日目

時間	プログラム名	講師	目的	内容
8：50～ 9：20	受付（30分）			
9：20～ 9：30	⑥アイスブレーク （10分）	古川先生	各班に分かれ、ワークショップ1日目の感想を共有する。	・各班のメンバーとの情報共有
9：30～ 10：40	⑦ハラスメントへの対応 （70分）	葛先生	・ハラスメント等の困難案件について基礎的な知識・留意点を学ぶ。	・ハラスメントの基礎知識 ・ハラスメントの相談と対応 ・各大学のハラスメント相談・防止体制 ・ハラスメントを防止するため
10：40～ 10：50	休憩（10分）			
10：50～ 12：30	⑧危機対応（自殺予防対策） （100分）	安宅先生 高橋先生	・自殺等の困難案件について基礎的な知識・留意点を学ぶ。 ・自死リスクがある学生への対応についてロールプレイングを通して体験的な理解を深める。	・日本の自殺をめぐる状況 ・自殺と精神疾患 ・大学における自殺予防対策とポストベンション ・メンタルヘルス・ファーストエイド（初期支援について） ・ロールプレイ
12：30～ 13：30	昼食・休憩（60分）			
13：30～ 15：30	⑨未来志向の学生支援 （学生も教職員も元気になる企画・立案演習） （120分）	森田先生	既存の枠組みや固定観念に捉われている自分に気づき、そこから脱却し、未来に向けた学生支援のあり方を模索する。	・学生も教職員も元気になれるような取り組みについて、グループ討議を通して、多様な意見を取り込み、企画・立案する。
15：30～ 15：40	休憩（10分）			
15：40～ 16：20	⑩アファメーション （気づきから見出す学生支援の指針） （40分）	森田先生	・２日間のワークショップを振り返り、得られた気づきから、学生支援の指針を見出す。 ・今後に活かすために、その体験を定着させる。	・内省を通して、感じたこと、気づいたこと、学んだこと、再確認したこと、支援の現場で実行したいことなどを、文字と声で表明する。 ・表明することで、自らの学生支援の指針を確認すると共に、他者と共有することで支援の幅を広げる。
16：20～ 17：00	⑪質疑応答・まとめ（40分）	古川先生 質問に回答される先生	・参加者から提出のあった質問に対して回答することで、解決策等を参加者全員で情報共有する。 ・2日間のプログラムを通しての理解の確認と研修後、具体的にどのようなアクションを起こしていったらよいか、ヒントを得る。	・質問への回答 ・ワークショップ全体のまとめ
17：00	閉会			